

第16回 全国VBLフォーラム

国立大学に経営が求められる時代！
～「大学は何ができるか？」を考える～

参加者募集中

日時：令和元年11月29日（金） 13：00～17：00

会場：茨城大学 水戸キャンパス

図書館3F ライブラリーホール

定員：100名（定員になり次第受け付け終了）

・基調講演 及び 総合討論

・情報交換会（17：15～19：00）

趣旨

第16回VBL（Venture Business Laboratory）フォーラムでは、“国立大学に経営が求められる時代！ ～「大学は何ができるか？」を考える～”をテーマとしました。

2017年以降、国立大学法人や研究開発法人によって新株予約権の取得、及び保有することが認められたことで、新たな産学連携の時代を迎えています。これを踏まえ、研究機関が新規に実行できる内容の理解を深めつつ、これからの“組織体制及び社会連携のあり得る姿”を議論したいと思います。

プログラム

日 時：令和元年11月29日（金） 13：00～17：00（受付 12：30～）

会 場：茨城大学水戸キャンパス ライブラリーホール（図書館3F）

定 員：100名（定員になり次第受け付け終了）

1) 開会挨拶

茨城大学 学長 三村信男

2) 来賓挨拶

茨城県 副知事 宇野善昌 氏

3) 茨城大学の産学連携活動の紹介

学長特別補佐（研究・産学官連携） 金野 満
研究・産学官連携機構 副機構長

4) 基調講演

①「文部科学省における大学発ベンチャー支援施策について（仮）」

文部科学省 科学技術・学術政策局 産学連携・地域支援課 地域支援室 専門職 相浦啓司 氏

②「産業的にも学術的にも世界を牽引する産学連携に向けて」

筑波大学国際産学連携本部 本部審議役 教授 内田史彦 氏

③「新株予約権等に係る国立大学法人会計基準等の制度と実務」

有限責任監査法人 トーマツ 監査・保証事業本部 シニアマネジャー 栗井浩史 氏

5) 総合討論

テーマ： 「国立大学法人及び大学共同利用機関法人が株式及び新株予約権を取得する場合の取扱いについて」の通知により、大学は何かできるようになったのか？

パネラー： 内田史彦 氏（筑波大学国際産学連携本部）
栗井浩史 氏（有限責任監査法人トーマツ監査・保証事業本部）
中村麻子（茨城大学 理工学研究科（理学野） 生物科学領域 教授）
鳥羽田英夫（茨城大学 理事（経営企画））

モデレーター： 酒井宗寿（茨城大学 研究・産学官連携機構 准教授）

6) 閉会挨拶

理事・副学長（学術統括） 尾崎久記
研究・産学官連携機構 機構長

17：15～19：00 情報交換会（会費：3,500円）
サザコーヒー茨城大学ライブラリーカフェ（図書館1F）

お申し込み方法

①次のURLまたはQRコードでアクセスし、申込書をダウンロードしてください。

<https://events.admb.ibaraki.ac.jp/2019/03000345.html>

②申込書に必要事項を記入の上、Eメールで vbl-forum-2019@ml.ibaraki.ac.jp までお送りください。
（数日以内に申込完了メールが届かない場合、右記のお問い合わせ先までご連絡ください。）

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



2019年、茨城大学は
創立70周年



お問い合わせ先
茨城大学 研究・社会連携部 産学連携課
担当：大塚・高橋
TEL: 0294-38-5005
FAX: 0294-38-5240
E-mail: vbl-forum-2019@ml.ibaraki.ac.jp

主催：茨城大学 後援：茨城県 茨城産業人クラブ 水戸観光コンベンション協会